

VERITAS NetBackup™

Installation Guide

PC Clients (日本語版)

2001年1月
P/N 30-000080-011


VERITAS

免責条項

本書に記載されている情報は予告なしに変更されることがあります。VERITAS Software Corporation は、特定の目的に対する商品性および適合性に対する暗黙の保証、およびそれ以外の保証も含めて、本マニュアルに関するいかなる保証もいたしません。VERITAS Software Corporation は、本マニュアルに含まれるエラーや、本マニュアルの提供、性能、または使用に関する偶発的または結果的な損傷に対して責任を負いません。

著作権

Copyright © 1998-2000 VERITAS Software Corporation. All rights reserved. VERITAS は、米国およびその他の国における VERITAS Software Corporation の登録商標です。VERITAS ロゴ、VERITAS NetBackup、および VERITAS NetBackup BusinessServer は、VERITAS Software Corporation の登録商標です。本書に記載されているその他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

このソフトウェアの一部は、RSA Data Security, Inc. の MD5 Message-Digest アルゴリズムを採用しています。Copyright 1991-92, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

Printed in the USA, January 2001.

VERITAS Software Corporation
1600 Plymouth St.
Mountain View, CA 94043
Phone 650-335-8000
Fax 650-335-8050
www.veritas.com

目次

NetBackup Installation Guide - PC Clients	
について	v
関連マニュアル	v
表記規則	vi
一般の表記規則	vi
「注」と「注意」の違い	vi
キーの組み合わせ	vi
コマンドの用法	vii
テクニカル サポート	vii
1 章 . NetBackup for Microsoft Windows 95/98/NT/2000 版	1
インストールの概要	2
ローカルおよびリモートでのインストール	2
新規インストールとアップグレード インストール	3
新規インストール	3
アップグレード インストール	3
システム要件	4
クライアント	4
リモート インストール	5
NetBackup サーバー	5
ローカル インストールの手順	6
リモート インストールの手順	19
リモート インストールでの注意事項	19
インストール時のステータス メッセージ	38

NetBackup クライアントの設定	44
NetBackup クライアント ソフトウェアのアンインストール	45
索引	47

NetBackup Installation Guide - PC Clients について

本書はシステム管理者とユーザーを対象として、VERITAS NetBackup クライアント ソフトウェアのインストールと設定方法について説明しています。対象となるクライアント プラットフォームは以下のとおりです。

- ◆ Microsoft Windows 95/98/NT/2000 が稼動している PC

本書は、NetBackup ソフトウェアがインストールされるクライアント プラットフォームとサーバーについて、読者が実務知識を有していることを前提とします。本書では、システム管理の権限と責任を持つ担当者のことを「システム管理者」といい、クライアント インタフェースを使用してバックアップ、アーカイブ、リストアを実行する担当者を「ユーザー」と言います。

関連マニュアル

クライアントソフトウェアの詳細については『NetBackup User's Guide』を、サーバーソフトウェアの詳細については『NetBackup Release Notes』および『NetBackup Administrator's Guide』を参照してください。トラブルシューティングの支援が必要な場合は、『NetBackup Troubleshooting Guide』を参照ください。

NetBackup マニュアルの一覧は、『NetBackup Release Notes』に記載されています。

表記規則

表記規則

本書で採用している一般的な表記規則について説明します。

一般の表記規則

表 1. 一般の表記規則

表記	用途
英字等幅フォント太字	入力する文字。例: cd と入力して、ディレクトリを変更してください。
英字等幅フォント	パス、コマンド、ファイル名、および出力。例: デフォルトのインストールディレクトリは /opt/VRTSxxx です。
『』	ドキュメントなどのタイトル。
「」	章や項目のタイトル、強調する用語。
英字ゴシック体 (斜体)	プレースホルダーテキストまたは変数。例: <i>filename</i> には、実際のファイル名を指定してください。
英字ゴシック体 (斜体以外)	フィールド名、メニュー項目など、グラフィカルユーザーインターフェース (GUI) のオブジェクト。例: [パスワード] フィールドに、パスワードを入力してください。

「注」と「注意」の違い

注 「注」では、製品をより使いやすくするための情報や、問題の発生を防ぐための情報について説明します。

注意 「注意」では、データ損失のおそれがある状態について説明します。

キーの組み合わせ

キーボードからコマンドを入力する場合、複数のキーを同時に使用することがあります。たとえば、**Ctrl** キーを押しながら別のキーを押す場合などが考えられます。このようなコマンドを示す場合は、次のように、各キーをプラス記号 (+) でつないで表記します。

Ctrl+T を押します。

コマンドの用法

コマンドの用法を示す場合によく使用される表記を、以下に示します。

角かっこ []

かっこ内のコマンドライン コンポーネントは、必要に応じて指定可能なオプションです。

垂直バーまたはパイプ (|)

ユーザーが選択可能なオプションの引数を区切る場合に使用します。たとえば、次に示すコマンドでは、ユーザーが **arg1** または **arg2** のいずれかを使用できることを示します。

```
command arg1|arg2
```

テクニカル サポート

この製品に関するシステム要件、サポートされているプラットフォーム、サポートされている周辺機器、テクニカル サポートから入手できる最新のパッチなどの最新情報については、弊社の Web サイトをご利用ください。

<http://www.veritas.com/jp> (日本語)

<http://www.veritas.com/> (英語)

製品に関するサポートは、VERITASテクニカル サポートまでお問い合わせください。

電話: (03)3509-9210

FAX: (03)5532-8209

VERITASカスタマ サポートへのお問い合わせの際は、次の電子メール アドレスもご利用いただけます。

support.jp-es@veritas.com

テクニカル サポート



NetBackup for Microsoft Windows 95/98/NT/2000 版

1

この章では、Microsoft Windows 版 NetBackup クライアント ソフトウェアのバージョン 3.4 のインストールについて、以下の事項の順に説明します。

- ◆ インストールの概要
- ◆ リモート インストール
- ◆ ローカル インストールの手順
- ◆ リモート インストールの手順
- ◆ インストール時のステータス メッセージ
- ◆ NetBackup クライアントの設定
- ◆ NetBackup クライアント ソフトウェアのアンインストール

インストールの概要

インストールの概要

Microsoft Windows 版 NetBackup クライアントのセットアッププログラムでは、一連のウィンドウを通じて、設定およびインストールのオプションとして適切なものを選択できるようになっています。オプションを選択すると、サマリ ウィンドウが表示され、実際にインストールを継続する前に確認できます。

インストール中には、ダイアログ ウィンドウにインストールとセットアップの進捗状況が詳しく表示されます。インストールが終了すると、最終ステータス ウィンドウにインストールの結果が表示されます（「インストール時のステータス メッセージ (38 ページ)」を参照）。

NetBackup DataCenter のインストールについて : Windows NT/2000 にインストールする場合は、インストール時に Columbia Data Products から Open Transaction Manager (OTM) をオプションとして選択できます。OTM は、インテルプロセッサ搭載の Windows NT/2000 プラットフォームにおいてバックアップ処理中に、開いているファイルの管理を行っています。OTM の設定が正しければ、バックアップの際に開かれていたファイルも含め、クライアント上のすべてのファイルを NetBackup でバックアップできます。MS-Exchange などのような、独自にバックアップ / リストア機能を内部的に持つアプリケーションに対して OTM を使用してはなりません。このようなアプリケーションに対して、NetBackup はその内部機能を利用することによって、ファイルが正常にリストアできたことを確認します。

OTM は、BusinesServer 向けに別途販売されるオプション製品です。

注 NetBackup サーバー ソフトウェアが既にインストールされている PC に対して、NetBackup クライアント ソフトウェアをインストールすることはできません。この章に記載されている手順を実行する前に、必ず NetBackup サーバー ソフトウェアをアンインストールしてください。

ローカルおよびリモートでのインストール

NetBackup クライアント セットアッププログラムは、次のいずれかの方法で使用できます。

- ◆ ローカル インストール-セットアッププログラムによって、インストールプログラムを実行した PC 上にだけクライアント ソフトウェアがインストールされます。
- ◆ リモート インストール-セットアッププログラムによって、ネットワーク上に收容されている、クライアント ソフトウェアをインストールすることが可能なクライアントの検出を行います。リモート インストールにはシステム管理者権限が必要です。また WinNT/2000 に限定されます。

ローカル インストールの場合もリモート インストールの場合も、クライアント PC 上に既に以前のバージョンの NetBackup クライアント ソフトウェアがインストールされているかどうかによって、新規インストールまたはアップグレード インストールのどちらかを実行することになります。

新規インストールとアップグレード インストール

NetBackup クライアント セットアップ プログラムは、次の 2 つのインストール タイプを認識します。

- ◆ 新規インストール - セットアップ プログラムで、クライアント PC 上にある既存の NetBackup クライアント ソフトウェアの検出を行いません。
- ◆ アップグレード インストール セットアップ プログラムで、Windows のレジストリ情報を使用して、既存の NetBackup クライアント ソフトウェアの検出を行います。

新規インストール

NetBackup の設定の際、すべての新規インストールに対して適用される設定オプションの組み合わせを 1 つだけ設定しておくことができます。設定可能なものを以下に示します。

- ◆ インストール ディレクトリの指定
- ◆ マスター サーバーとメディア サーバー名の指定
- ◆ bpcd ポート番号と bprd ポート番号の入力
- ◆ NetBackup Client サービスの起動を自動的に行うか、手動で行うか
- ◆ インストール終了後に、クライアント上で NetBackup Client サービスを起動するかどうか

アップグレード インストール

NetBackup セットアップ プログラムでは、既にインストールされている NetBackup のアップグレード、または新規インストールのいずれかを選択できます。

既にインストールされている NetBackup のアップグレード

セットアップ プログラムでは、現在インストールされているプログラムが使用しているディレクトリに NetBackup クライアント ファイルをインストールできます。サーバー名、bpcd ポート番号、bprd ポート番号など、既存の NetBackup 設定情報をすべて利用して、アップグレードを実行します。デフォルトでは、このアップグレードが選択されます。

アップグレードの際に新規インストールを実行

この場合、セットアップの際に、新規インストールとまったく同じようにオプションを設定することができます。ここで設定されるオプションは、新規インストールにもアップグレード インストールにも適用可能です。そのため、インストールの終了時に、1 台の PC に対して 2 つの NetBackup クライアント ソフトウェアがインストールされた状態にすることができます。この場合 [スタート] メニューに 2 つの NetBackup のエントリが表示されます。

システム要件

注 なお、バージョン 3.0 以降の NetBackup クライアント ソフトウェアの場合、設定情報とパス情報を Windows レジストリ内の同一キーに格納します。そのため、最後にインストールを行った NetBackup だけが実行されることとなります。

このオプションを選択すると、より柔軟にインストールを行うことができます。たとえば、同じ PC 上に古いバージョンと新しいバージョンの 2 つのソフトウェアをインストールすることもできますし、またその反対に、複数の PC で 1 つのインストール ディレクトリを共有するように指定することもできます。

システム要件

この節では、NetBackup ソフトウェアのインストールに必要なハードウェアとソフトウェアについて説明します。

クライアント

PC ワークステーションに NetBackup をインストールする場合、以下の要件を満たした構成でなければなりません。

Microsoft Windows NT/2000 をクライアントにする場合

- ◆ Microsoft Windows NT 4.0 以降（Windows 2000 を含む）
- ◆ NT4.0 ユーザーの場合、NT Service Pack 4 が適用済み
- ◆ 使用プロセッサが Intel 80486 以降、もしくは DEC Alpha
- ◆ TCP/IP トランスポートには、Windows NT/2000 Server に附属の TCP/IP トランスポートの使用を推奨。その他のトランスポートを使用する場合には、それが Windows Socket に準拠したものであることを確認してください。
- ◆ 実装されたネットワーク カードが上で指定した TCP/IP トランスポートで利用可能

Microsoft Windows 95/98 クライアントをクライアントにする場合

- ◆ Microsoft Windows 95 または Microsoft Windows 98
- ◆ 使用プロセッサが Intel 80486
- ◆ Windows Socket に準拠した、任意の TCP/IP トランスポート（オペレーション システムに附属の TCP/IP トランスポートを利用することを推奨）
- ◆ 実装されたネットワーク カードが上で指定した TCP/IP トランスポートで利用可能
- ◆ Windows 95 ユーザーの場合は、「Windows Socket 2 Update for Windows 95」を適用している必要があります。これは Microsoft の Web サイトの Download Center (www.microsoft.com/downloads) からダウンロードできます。

リモート インストール

上記の要件に加えて、次の要件を満たす必要があります。

- ◆ インストール元の PC に Windows NT/2000 がインストールされていること
- ◆ インストール先の PC に Windows NT/2000 がインストールされていること
- ◆ リモート インストールを行う担当者が、すべてのクライアント PC に対して管理者権限を持っていること

NetBackup サーバー

- ◆ これらのクライアント用の NetBackup サーバーには、バージョン 3.4 以降の NetBackup サーバー ソフトウェアがインストールされていること

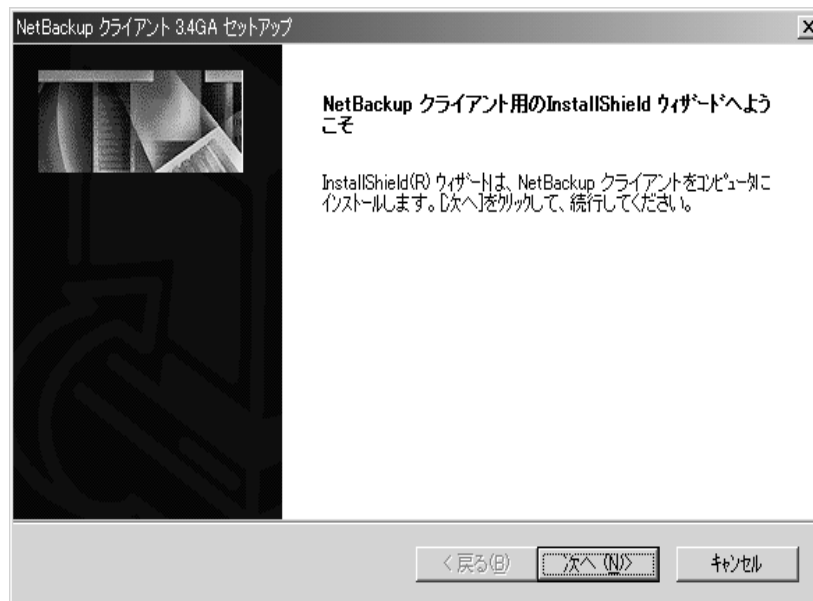
ローカル インストールの手順

クライアント ソフトウェアをインストールするには、以下の手順を実行してください。インストール中はいつでも、[キャンセル] をクリックしてインストールを中止したり、[戻る] ボタンをクリックして前のウィンドウに戻ったりすることができます。

1. PC が Windows 95/98 で動作している場合、NetBackup が既にインストール済みであれば、インストールを続行する前に NetBackup Client サービス を停止してください。PC が Windows NT/2000 で動作している場合は、このサービスは自動的に停止します。
2. NetBackup CD-ROM を挿入し、次に示すセットアッププログラムを実行します。

PC_ClnT¥Win32¥setup.exe

NetBackup クライアント セットアッププログラムの初期化中にセットアップの起動画面が表示され、続いて [ようこそ] 画面が表示されます。



[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

3. [NetBackup クライアント セットアップ タイプ] ウィンドウが表示されます。



最初のオプション ボタンをクリックして、ローカル インストールを選択します。
[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

ローカル インストールの手順

4. 既存バージョンの NetBackup ソフトウェアが検出された場合は、[検出された NetBackup クライアント] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウが表示されない場合は、手順7に進んで新規インストールを続行します。



このウィンドウで、以下のいずれかを選択します。

- ◆ 最初のオプション ボタンを選択して、既にインストールされている NetBackup をアップグレードする。デフォルトではこれが選択されています。
- ◆ 2 番目のオプション ボタンを選択して、アップグレードの際に新規インストールを実行する。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

- ◆ NetBackup DataCenter をインストールしている場合は、手順5に進みます。
- ◆ NetBackup BusinessServer をインストールしている場合は、手順6に進みます。

5. Windows NT/2000 で動作しているコンピュータにインストールしている場合は、前の段階で選択したオプションの内容にかかわらず、Columbia Data Products から Open Transaction Manager (OTM) をインストールするよう求められます。OTM は、開いているファイルを管理し、スケジュールバックアップでそれらのファイルがバックアップされるようにします。

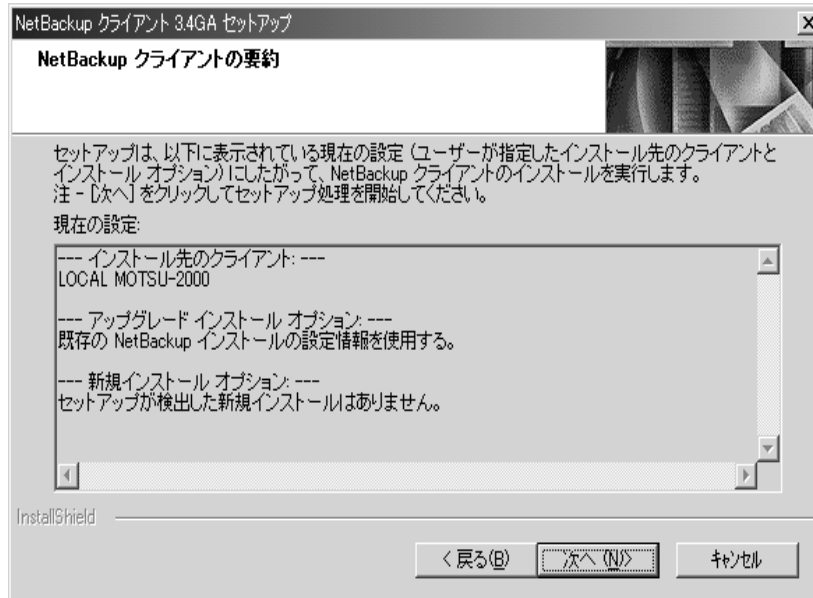


[次へ] をクリックすると、インストールが続行します。

- ◆ 既にインストールされている NetBackup をアップグレードする場合は、手順6に進みます。
- ◆ アップグレードの際に新規インストールを実行する場合は、手順7に進みます。

ローカル インストールの手順

- 既にインストールされている NetBackup をアップグレードする場合は、[要約] ウィンドウが表示されます。



NetBackup クライアント ソフトウェアは、既存のインストールで使用されているディレクトリにインストールされます。既存の NetBackup の設定がアップグレードの際に利用されます。

[次へ] をクリックしてインストールを開始します。

手順 13 に進みます。

7. NetBackup クライアントに使用する名前の入力もしくは変更を行います。この名前は、新規インストール、または既存の設定を上書きする場合にだけ使用されます。

注 クライアント名は、NetBackup マスター サーバーで定義した名前と同じでなければなりません。クライアント名の変更を行う前に、使用すべきクライアント名の情報を入手するためにも、事前に NetBackup 管理者に照会してください。



ローカル インストールの手順

8. NetBackup のインストールを新規ディレクトリで実行するか、あるいは新しい設定で実行します。

一連のウィンドウが表示され、新規設定用のオプションを指定できます。

NetBackup をデフォルトのインストール先フォルダにインストールしない場合は、最初のウィンドウで別のフォルダを指定します。



[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

9. 次に表示されるウィンドウで、NetBackup プログラム アイコンを追加するフォルダを選択できます。



[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

ローカル インストールの手順

10. 次に表示されるウィンドウでは、このクライアントの NetBackup サーバーの名前を入力できます。ここに指定するサーバー名については、システム管理者に問い合わせてください。

ここではサーバー名を入力するだけでなく、NetBackup サーバーの一覧へサーバーを追加したり、一覧から削除することも可能です。

また、その一覧表からサーバーを選択し [マスターに設定] をクリックして、そのサーバーをこのクライアントのマスターサーバーにすることもできます。



注 インストールの完了後に、NetBackup クライアントブラウザから NetBackup マスターサーバーの名前を選択することもできます。このオプションは、[アクション] メニューの [NetBackup マシンの指定] から利用できます。

このダイアログ ウィンドウへの入力方法については、[ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

11. 次に表示されるウィンドウでは、以下の設定を行うことができます。

- ◆ NetBackup Client サービスの起動を自動的に行うか手動で行うか
- ◆ NetBackup Job Tracker を自動的に起動するかどうか
- ◆ インストール終了後に、NetBackup Client サービスを起動するかどうか
- ◆ NetBackup で使用されるポート番号の指定

注 bpcd ポート番号または bprd ポート番号を変更する場合は、事前に NetBackup 管理者に確認してください。

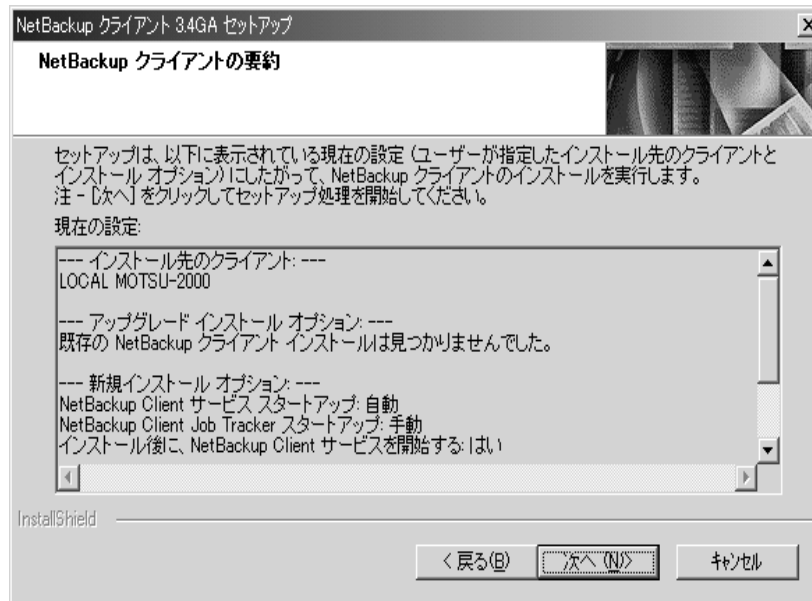


このダイアログ ウィンドウへの入力方法については、[ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

ローカル インストールの手順

12. [要約] ウィンドウが表示されます。



現在の設定を変更するには、[戻る] をクリックして前のウィンドウに戻ります。

設定が終了したら、[次へ] をクリックしてインストールを開始します。

13. ステータスウィンドウに、現在設定を実行しているクライアントの名前とインストール全体の進捗状況が表示されます。

この時点で、インストールを中止することができます。インストール処理は数秒継続することがありますが、まもなく終了します。

注 NetBackup クライアント セットアップ プログラムでは、インストールを中止したときの後始末を行うことができません。したがって、クライアントへファイルをコピー中にセットアッププログラムを中止した場合、インストールが正常に終了したファイルはアンインストールされません。

14. インストールが完了すると、次のようなウィンドウにインストールの状態が表示されます。表示メッセージの詳細については、「インストール時のステータス メッセージ (38 ページ)」を参照してください。

[詳細] ボタンをクリックすると、状態が詳細に表示されます。



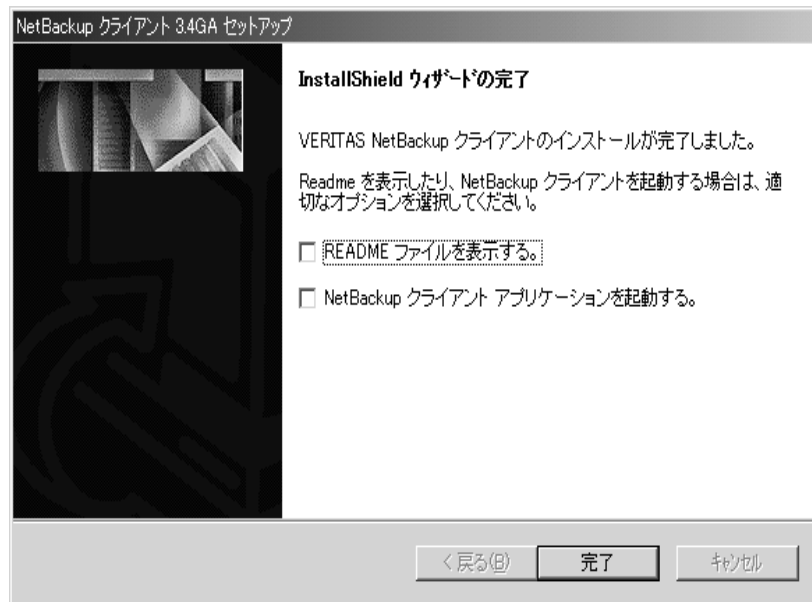
[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

ローカル インストールの手順

15. [ウィザードの完了] ウィンドウが表示されます。

NetBackup クライアントの README ファイルの表示や NetBackup クライアント ソフトウェアの起動を選択することができます。

NetBackup を起動するためには、NetBackup Client サービスが実行されており、かつ NetBackup サーバーが利用可能でなければなりません。



[完了] をクリックするとインストールが完了します。変更を有効にするために、PC の再起動が必要になることがあります。

リモート インストールの手順

注 この手順を開始する前に、5 ページのリモート インストールの要件を再確認してください。

ネットワークに収容されている Windows NT/2000 クライアント（このローカルの PC が含まれることもあります）の中から選択したものに対して、NetBackup クライアント ソフトウェアをインストールする場合、以下の手順に従ってください。[キャンセル] をクリックすると、いつでもインストールを中断することができます。

リモート インストールでの注意事項

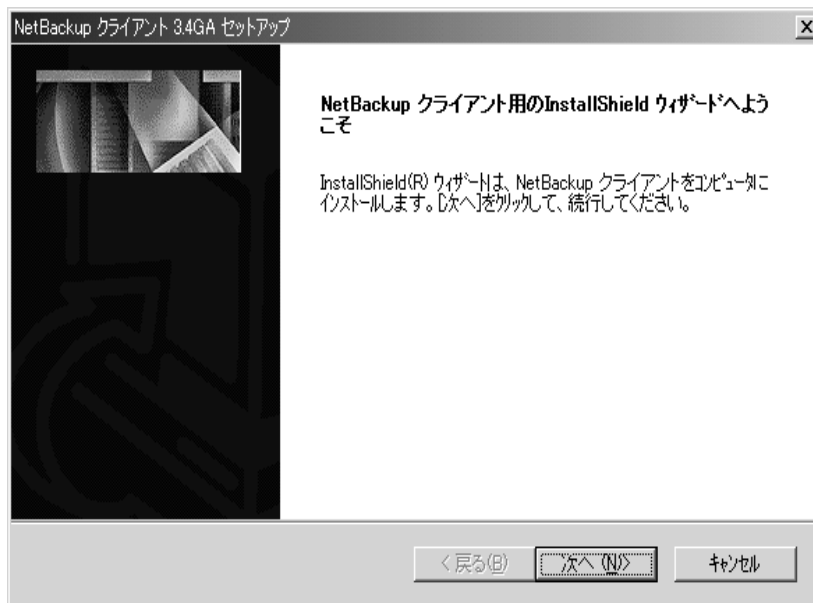
- ◆ インストールの際、クライアント名はレジストリに小文字で書き込まれます。NetBackup サーバー上のクラスで、クライアント名の指定が小文字でされていない場合はバックアップ処理が失敗しますが、これは（レジストリに書き込まれた）クライアント名と一致しないためです。
- ◆ ネットワーク上でリモート インストールを行う場合、インストール処理中に作成されるショートカットと既存のものが衝突することを避けるために、以下の手順のいずれかに沿って、NetBackup のインストールを行うことをお勧めします。
 - ◆ NetBackup がインストールされていないローカル コンピュータから NetBackup の（リモート）インストールを行う。
 - ◆ ローカル クライアントにインストールする前に、リモート クライアントに NetBackup をインストールする。
 - ◆ ソースとなる PC に対して NetBackup をインストールする際に、リモート クライアントに対して NetBackup でインストール時に使用するフォルダとは別のフォルダ（つまり、C:\Program Files\VERITAS 以外のフォルダ）を指定してインストールを行う。NetBackup がリモート インストール時に使用するフォルダをソース PC 上に置くことはできません。

リモート インストールの手順

1. NetBackup CD-ROM を挿入し、セットアップ プログラムを実行します。

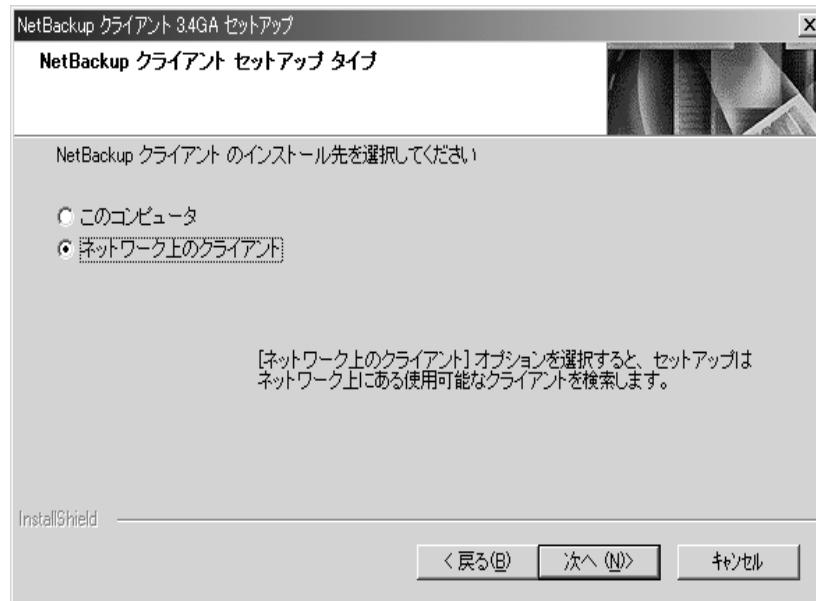
PC_ClnT¥Win32¥setup.exe

次の画面が表示されます。



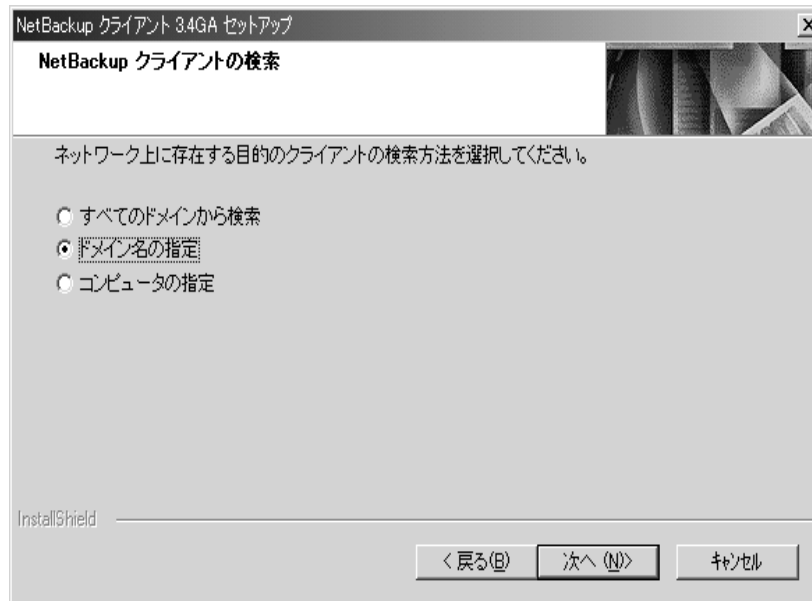
[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

2. [NetBackup クライアント セットアップ タイプ] ウィンドウが表示されます。



- 2 番目のオプションを選択し、リモート インストールを実行します。
[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

3. [NetBackup クライアントの検索] ウィンドウが表示されます。



これから行うリモート インストールに適したオプションを選択します。

- ◆ 複数のドメインにまたがって、クライアントのインストールを行う場合は、最初のオプションボタンを選択します。[次へ] をクリックしてインストールを続行し、手順4に進みます。
- ◆ ある1つのドメインに収容されているクライアントにインストールを行う場合は、2番目のオプションボタンを選択します。[次へ] をクリックしてインストールを続行し、手順5に進みます。
- ◆ 1台のリモート コンピュータにインストールを行う場合は、3番目のオプション ボタンを選択します。[次へ] をクリックしてインストールを続行し手順6に進みます。

4. ネットワークを短時間検索した後、次のようなウィンドウが表示されます。



クライアント PC のスキャン対象とするドメインを選択します
[次へ] をクリックし、手順7に進んでインストールを続行します。

リモート インストールの手順

5. [ドメインの選択] ウィンドウが表示されます。



リモート PC が收容されているドメイン名を入力します。
[次へ] をクリックし、手順7に進んでインストールを続行します。

6. [コンピュータの選択] ウィンドウが表示されます。
NetBackup をインストールするクライアント PC の名前を入力します。



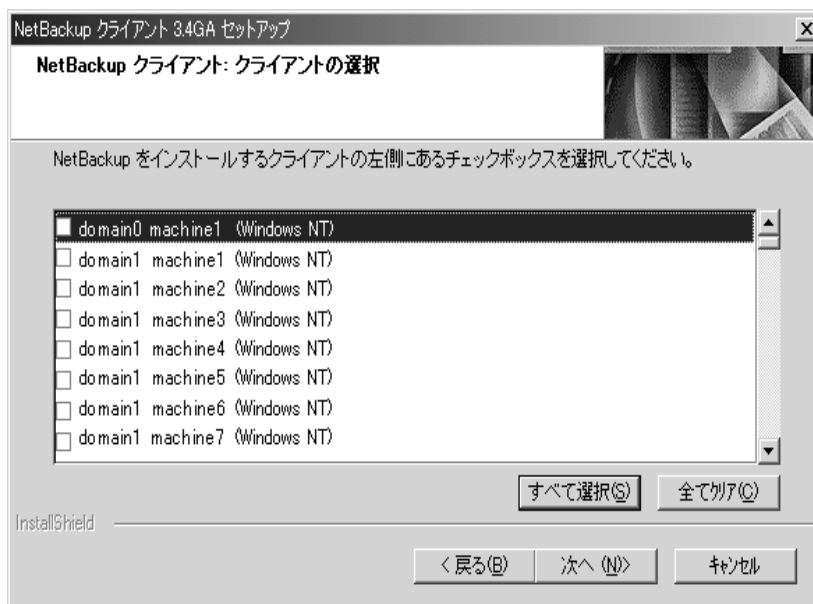
注 NetBackup のインストールを完了するには、リモート クライアント上に管理者権限が必要です。

[次へ] をクリックし、手順9に進んでインストールを続行します。

リモート インストールの手順

7. [クライアントの選択] ウィンドウが表示されます。

NetBackup をインストールするクライアント PC を選択します。



[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

8. インストール先にリモート クライアントを選択した場合、次の質問が表示されます。



[はい] をクリックして、指定したリモート クライアント PC に既に NetBackup がインストールされているかどうかスキャンを行います。

9. セットアッププログラムが、現存するバージョンの NetBackup ソフトウェアがインストール済みのクライアントを検出した場合には、[検出された NetBackup クライアント] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウが表示されない場合は、手順 12 に進んで引き続き新規インストールを行います。



このウィンドウでは、次のオプションを選択できます。

- ◆ 最初のオプション ボタンを選択すると、既にインストールされている NetBackup のアップグレードを実行します。デフォルトではこれが選択されています。
- ◆ 2 番目のオプション ボタンを選択すると、新規インストールと同様に実行します。
[次へ] をクリックしてインストールを続行します。
- ◆ NetBackup DataCenter のインストールの場合は、手順 10 に進みます。
- ◆ NetBackup BusinessServer のインストールの場合は、手順 11 に進みます。

リモート インストールの手順

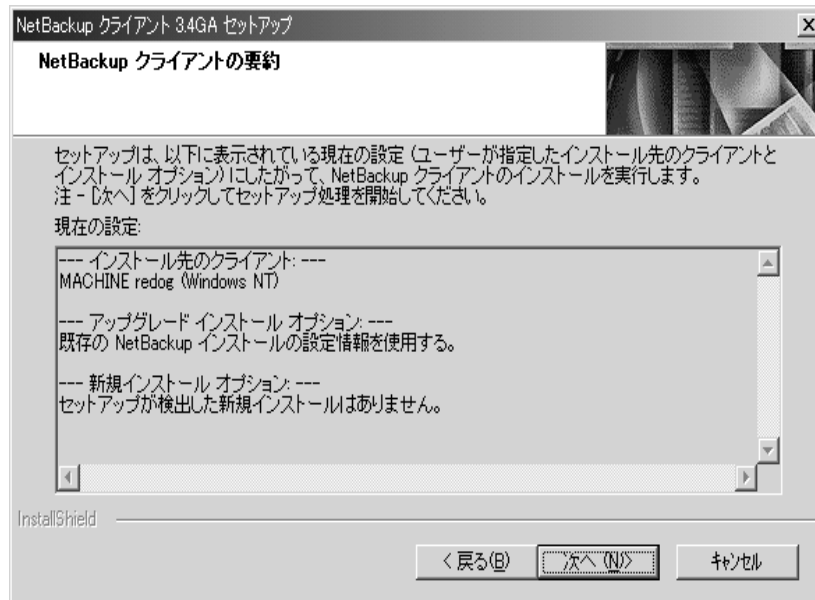
10. Columbia Data Products から Open Transaction Manager (OTM) をインストールするよう求められます。OTM は、スケジュールバックアップの際に、開いているファイルを管理して、開いているファイルもバックアップされるようにします。



[次へ] をクリックしてインストールを続けます。

- ◆ 既にインストールされている NetBackup をアップグレードする場合は、手順 11 に進みます。
- ◆ 新規インストールと同様にしてアップグレードを実行する場合は、手順 12 に進みます。

11. 既にインストールされている NetBackup をアップグレードしている場合は、[要約] ウィンドウが表示されます。



NetBackup クライアント ソフトウェアは、現在のインストールで使用されているディレクトリにインストールされます。既存の NetBackup の設定をアップグレードの際に利用します。

[次へ] をクリックしてインストールを開始します。

セットアップ プログラムによりマシン上に NetBackup が検出されなかったことが [要約] ウィンドウに表示された場合は、手順 13 に進みます。それ以外の場合は 手順 18 に進み、アップグレード インストールを続行します。

リモート インストールの手順

12. NetBackup を新規ディレクトリにインストールしたり、新しい設定内容を使用してインストールすると、インストール用のオプションを設定するためのウィンドウが続けて表示されます。これらのウィンドウに示される選択項目は、ローカル PC からスキャンされた後、前に選択したすべての PC クライアントに適用されます。

最初のウィンドウでは、NetBackup クライアントに使用する名前を入力または変更できます。この名前は、新規インストール、または既存の設定を上書きする場合にだけ使用されます。

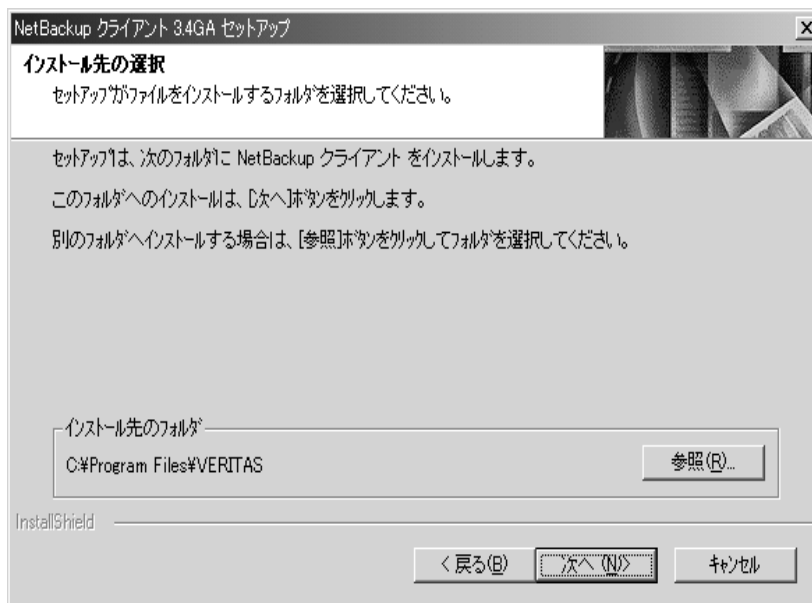
- 注** クライアント名の変更を行う前に、使用すべきクライアント名の情報を入手するためにも、事前に NetBackup 管理者に照会してください。また、使用するクライアントの名前を入手する場合も NetBackup 管理者に問い合わせてください。



[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

13. NetBackup をデフォルトのインストール先フォルダにインストールしない場合は、次に表示されるウィンドウで別のフォルダを参照して指定できます。

注 ネットワーク上でリモート インストールを行う場合、インストール処理中に作成されるショートカットと既存のものが衝突することを避けるために、「リモート インストールでの注意事項 (19 ページ)」を参照してください。



[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

リモート インストールの手順

14. 次に表示されるウィンドウでは、NetBackup プログラム アイコンを追加するフォルダを選択できます。

注 リモート PC に [スタート] メニューのエントリが作成されない場合は、おそらくその PC に Windows NT Service Pack 2 以降がインストールされていないと考えられます。インストール要件に従って、Windows NT Service Pack 4 をインストールしてください。



[次へ] をクリックして新規インストールを続行します。

15. 次に表示されるウィンドウでは、このクライアント セット用の NetBackup サーバーの名前を入力できます。

サーバー名を入力するときに、NetBackup サーバーの一覧にサーバーを追加したり、一覧から削除することができます。

また、その一覧表からサーバーを選択し [マスターに設定] をクリックして、そのサーバーをこのクライアントのマスターサーバーにすることもできます。



注 インストールの完了後に、NetBackup クライアント ブラウザから NetBackup マスター サーバーの名前を選択することもできます。このオプションは、[アクション] メニューの [NetBackup マシンの指定] から利用できます。

このダイアログ ウィンドウへの入力方法については、[ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

リモート インストールの手順

16. 次に表示されるウィンドウでは、以下の操作を実行できます。

- ◆ NetBackup Client サービスの起動を自動的に行うか手動で行うか
- ◆ NetBackup Job Tracker の起動を自動的に行うか手動で行うか
- ◆ インストール終了後に、NetBackup Client サービスを起動するかどうか
- ◆ NetBackup で使用されるポート番号の指定

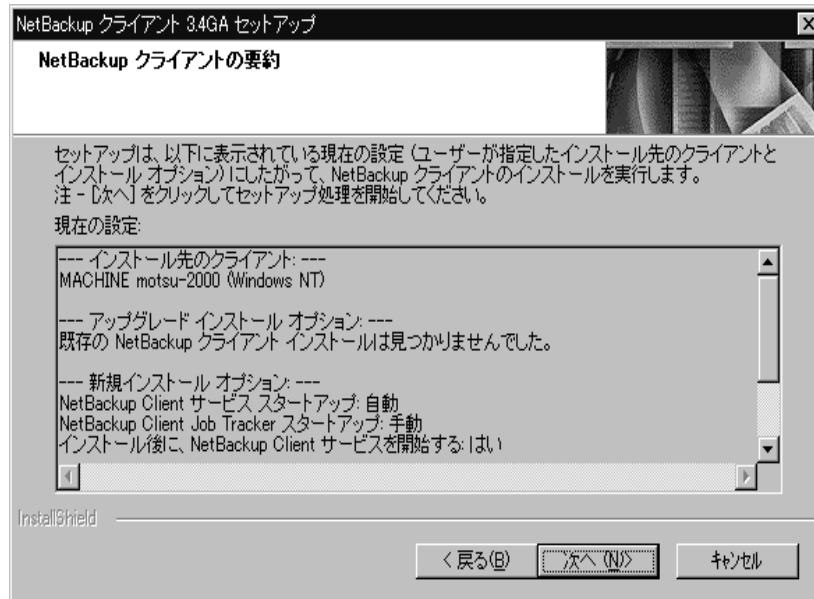
注 bpcd ポート番号または bprd ポート番号を変更する前に、NetBackup 管理者に確認してください。



このダイアログウィンドウへの入力内容については、[ヘルプ]ボタンをクリックしてください。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

17. [要約] ウィンドウが表示されます。



この設定を変更する場合は、[戻る] をクリックして前のウィンドウに戻ります。

設定が終了したら、[次へ] をクリックしてインストールを開始します。

18. ステータス ウィンドウに、現在設定処理中のクライアントの名前とインストール全体の進捗状況が表示されます。

この段階で、インストールを中止することができます。インストール処理は数秒継続することがありますが、まもなく終了します。

注 NetBackup クライアント セットアップ プログラムでは、インストールを中止したときの後始末を行うことができません。したがって、クライアントへファイルをコピー中にセットアッププログラムを中止した場合、インストールが正常に終了したファイルはアンインストールされません。

リモート インストールの手順

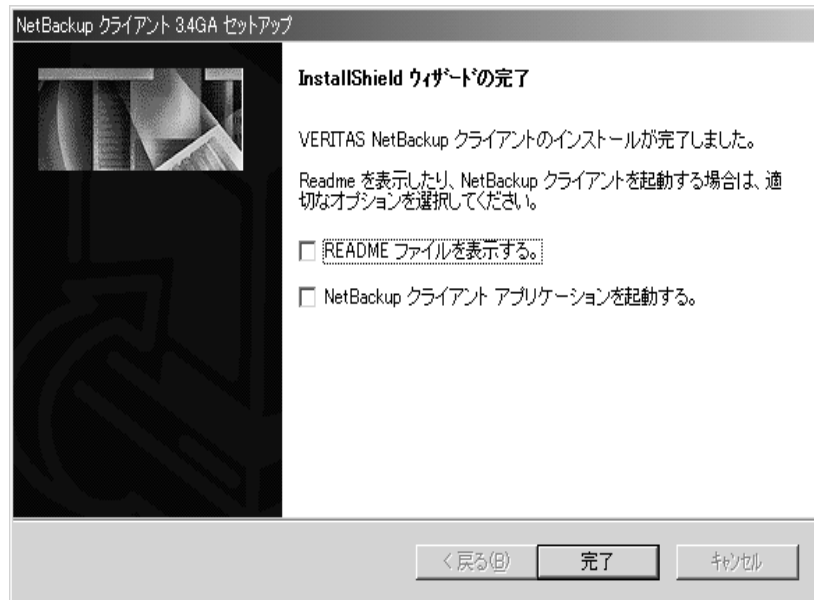
19. インストールが完了すると、次のようなウィンドウにインストールの状態が表示されます。表示されるメッセージの詳細については、「インストール時のステータス メッセージ (38 ページ)」を参照してください。

[詳細] ボタンをクリックすると、状態が詳細に表示されます。



[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

20. リモートインストール中にローカルの PC へインストールを行うと、次のようなウィンドウが表示されます。



このウィンドウで NetBackup クライアントの README ファイルを表示するか、NetBackup クライアント ソフトウェアを起動することができます。

NetBackup を起動するためには、NetBackup Client サービスが実行されており、かつ NetBackup サーバーが利用可能でなければなりません。

同じようなウィンドウがリモート PC のインストール時に表示されますが、上記の 2 つのオプションは選択できません。

[完了] をクリックするとインストールが完了します。

インストール時のステータス メッセージ

NetBackup クライアント セットアップ プログラムによって、次のインストール ステータス メッセージが [要約] ダイアログ ボックスに表示されることがあります。

クライアント クライアント名のインストールに失敗しました
(NetBackup サーバーが既に PC 上にインストールされています)。

NetBackup サーバー ソフトウェアがインストールされている PC に対しては、セットアップ プログラムを使用して NetBackup クライアント ソフトウェアをインストールすることはできません。この場合、NetBackup サーバー セットアップ プログラムを使用して NetBackup クライアント ソフトウェアのインストールを行ってください。

クライアント クライアント名のインストールに失敗しました (ステータス)

エラー発生の際に表示されるメッセージ。このメッセージより前に、エラーの内容をより詳しく特定できるようなメッセージが表示されているはずです。

クライアント クライアント名のインストールに失敗しました (サービスを開始できません)。

セットアップ プログラムが、指定されたコンピュータで NetBackup Client サービスの起動に失敗しました。必要に応じて手動で起動してください。

クライアント クライアント名 - インストール処理の実行には成功しましたが、NetBackup Client サービスを開始できません (クライアント側のサービスへログオンできませんでした)。

セットアップ プログラムが、NetBackup Client サービスの起動を試みましたが、ログオンできませんでした。通常、原因として、このサービスに特定のユーザーまたはパスワードが関連付けられていることが考えられます。これらの値は、指定した PC 上でコントロール パネルの [サービス] プログラムを使用して変更できます。

クライアント クライアント名 - スタート メニューのアイコンを作成できません
(必要な NT サービス パックを検出できませんでした)。

セットアップ プログラムは、リモート コンピュータに Windows NT Service Pack 2 以降がインストールされている場合に限り、その [スタート] メニューの更新を行うことができます。セットアップ プログラムは、指定のコンピュータ上にサービスパックを検出しませんでした。

クライアント クライアント名のインストールに失敗しました
(ファイルのコピーに失敗しました)。

NetBackup クライアント セットアップ プログラムで、NetBackup ファイルのインストール中にエラーが発生しました。インストール先の PC にファイルをコピーする権限を持っていないか、インストール先のシステムにインストールするファイルが既に存在し実行中であるか、あるいはローカル PC とリモート PC のいずれかまたはその両方でハードウェアやオペレーティング システムに障害が発生している可能性があります。

クライアント クライアント名のインストールに失敗しました
(十分なディスク容量がありません)。

NetBackup クライアント セットアップ プログラムにより、指定クライアントには十分なディスク領域がないことが判明しました。

クライアント クライアント名のインストールに失敗しました
(メモリの割り当て処理に失敗しました)。

NetBackup クライアント セットアッププログラムが必要なメモリを割り当てることができませんでした。

クライアント クライアント名のインストールに失敗しました (不足しているファイル、または不足しているメディア上のファイルがあります)。

NetBackup クライアント セットアッププログラムが、インストール メディア上の 1 つ以上の必須ファイルの検出に失敗しています。

クライアント クライアント名のインストールに失敗しました (クライアントと通信できません)。

セットアッププログラムが、ネットワーク上の指定したクライアントと通信できませんでした。指定したクライアントが停止しているか、一時的に利用できない状態にあるか、もしくはネットワーク通信に障害が発生していることが考えられます。

クライアント クライアント名のインストールに失敗しました
(パスを判定することができません)。

NetBackup クライアント セットアッププログラムは、(~ が付いた) ショートパス名で指定されているインストール先のパス名をフルパス名に変換できませんでした。

クライアント クライアント名 インストール ノート -bp.conf ファイルを変換できません。

NetBackup クライアント セットアッププログラムが、以前のインストールで使用されている bp.conf 設定ファイルの変換ができませんでした。ファイルが存在しないか、もしくは NetBackup から読み込むことができなかった可能性があります。このメッセージは、いわゆるエラーメッセージではなく、情報を通知するためのものです。既にソフトウェアがインストールされている場合、NetBackup プログラムを介して設定情報 (サーバー名やクライアント名など) の再入力が必要となることがあります。

クライアント クライアント名 インストール ノート -bp.ini ファイルを変換できません

NetBackup クライアント セットアッププログラムが、以前のインストールで使用されている bp.ini 設定ファイルの変換ができませんでした。ファイルが存在しないか、もしくは NetBackup から読み込むことができなかった可能性があります。このメッセージは、いわゆるエラーメッセージではなく、情報を通知するためのものです。既にソフトウェアがインストールされている場合、NetBackup プログラムを介して設定情報の再入力が必要となることがあります。

クライアント クライアント名のインストールに成功しました。

インストールが成功しました。

クライアント クライアント名 内部ダイアログのエラー

セットアッププログラムは、想定外の、[Installshield] ダイアログ ボックスの内部エラーに遭遇しました。この問題が解決しない場合は、PC を再起動し、セットアッププログラムを再起動してください。それでも解決しない場合は、カスタマ サポートにご連絡ください。

クライアント クライアント名-パス パス名は有効なパス名ではありません。

インストール時のステータス メッセージ

セットアッププログラムは、指定されたインストール ディレクトリを検出できませんでした。
入力したパス名を確認してください。

クライアント クライアント名セットアップは必要な一時ファイル 一時ファイル名の作成に失敗しました。

NetBackup クライアント セットアッププログラムは、一時データを書き込むためのファイルを開くことができませんでした。

クライアント クライアント名セットアップは、このマシン上で動作しているオペレーティング システムを判断できません。

セットアッププログラムが、コンピュータのオペレーティング システムを特定できませんでした。

クライアント クライアント名セットアップはネットワーク上に存在するドメイン名を検出できませんでした。

セットアッププログラムはドメイン名を特定するために Win32 の関数を呼び出しましたが、オペレーティング システムから名前が返ってきませんでした。

クライアント クライアント名セットアップは、ドメイン ドメイン名に存在する有効なクライアントを検出できませんでした。

セットアッププログラムが、指定ドメイン内に有効なクライアントを検出できませんでした。
有効なクライアントとは、使用可能な状態にあり、ネットワークから認識可能で、かつ WindowsNT/2000 で動作しているものをいいます。

クライアント クライアント名セットアップは、ファイル `_Isuser.dll` からカスタム ダイアログ ボックスをロードすることができません。

セットアッププログラムで、`_isuser.dll` ファイルからダイアログ ボックスを読み込むことができませんでした。このファイルが存在しないか破損しています。

クライアント クライアント名ユーザーがセットアップ処理を中止しました。

NetBackup クライアント セットアッププログラムが、ユーザーによって中止されました。
ユーザーが [セットアップの中止] をクリックしました。

クライアント クライアント名セットアップはサーバーまたはドメイン名の必要なリストを作成できませんでした。

セットアッププログラムによって、文字列のリスト構築中に、エラーが発生しました。まず考えられるのは、PC のリソースによる問題です。PC を再起動することで解決することがあります。

クライアント クライアント名セットアップは、選択したドメイン内で有効なクライアントを検出できませんでした。

セットアッププログラムはドメイン名を特定するために Win32 の関数を呼び出しましたが、オペレーティング システムから名前が返ってきませんでした。

クライアント クライアント名 - セットアップは、変換プログラムを起動することができませんでした。

NetBackup クライアント セットアップ プログラムが、既存の NetBackup 設定情報を .ini ファイルからレジストリに移動するプログラムを起動することができませんでした。このメッセージは、いわゆるエラー メッセージではなく、情報を通知するためのものです。既にソフトウェアがインストールされている場合、NetBackup プログラムを介して設定情報の再入力が必要となることがあります。

クライアント クライアント名 セットアップは DLL のロード処理に失敗しました。

セットアップ プログラムで、指定された DLL ファイルを読み込めませんでした。このファイルが存在しないか破損しています。

クライアント クライアント名 セットアップは一時ファイルからドメイン名を読み取ることができませんでした。

セットアップ プログラムが一時ファイルからドメイン名リストを読み込むときに内部エラーが発生しました。必要に応じて、セットアップ プログラムを再起動してください。

クライアント クライアント名 セットアップは一時ファイルからサーバー名を読み取れませんでした。

セットアップ プログラムが、一時ファイルからドメイン名のリストを読み込むときに内部エラーが発生しました。必要に応じて、セットアップ プログラムを再起動してください。

クライアント クライアント名 NetBackup Client サービスが実行中です。NetBackup Client サービスをいったん停止し、セットアップを再実行してください。

(Windows 95 および 98 のみ) - セットアップ プログラムでは、NetBackup Client サービスの実行中は NetBackup クライアント ソフトウェアをインストールできません。このサービスを停止し、セットアップ プログラムを再起動してください。

クライアント クライアント名 このプログラムをインストールするには、VGA またはそれ以上の解像度が必要です。

セットアップ プログラムを実行するには、(Installshield の制約により) VGA 以上の解像度のディスプレイが必要です。

クライアント クライアント名 このバージョンの NetBackup クライアント セットアップは 32 ビットの Windows 環境のみに対応しています。

本バージョンでは、セットアップ プログラムは Windows 95、98、2000、または NT でのみ実効可能です。

クライアント クライアント名 スタート メニューのアイコンを作成できません (レジストリにおける不正なパスが原因)。

インストール時のステータス メッセージ

NetBackup クライアント セットアップ プログラムによるインストールは完了しましたが、**NetBackup** のアイコンを [スタート] メニューに作成することができませんでした。これは、その PC の [スタート] メニューの位置情報に変数を伴ったテキスト文字列が含まれているために、**NetBackup** がその情報を展開することができなかったからです。[スタート] メニューのエントリもしくはショートカットを手動で作成してください。

クライアント クライアント名 スタート メニューのアイコンを作成できません (レジストリへ接続できません)。

クライアント クライアント名 スタート メニューのアイコンを作成できません (レジストリを読み取れません)。

NetBackup クライアント セットアップ プログラムによるインストールは完了しましたが、**NetBackup** のアイコンを [スタート] メニューに作成することができませんでした。これは、**NetBackup** がレジストリを照会して、その PC の [スタート] メニューの位置を特定できなかったからです。[スタート] メニューのエントリもしくはショートカットを手動で作成してください。

クライアント クライアント名 クライアント サービス用に スタート メニューのアイコンを作成することができませんでした。

NetBackup クライアント セットアップ プログラムによるインストールは完了しましたが、**NetBackup Client** サービスのアイコンを [スタート] メニューに作成することができませんでした。[スタート] メニューのエントリもしくはショートカットを手動で作成してください。

クライアント クライアント名 **NetBackup** クライアント用に スタート メニューのアイコンを作成することができませんでした。

NetBackup クライアント セットアップ プログラムによるインストールは完了しましたが、**NetBackup** のアイコンを [スタート] メニューに作成することができませんでした。[スタート] メニューのエントリもしくはショートカットを手動で作成してください。

クライアント クライアント名 スタート メニューのアイコンを作成できません (必要な NT サービス パックを検出できませんでした)。

NetBackup クライアント セットアップ プログラムによる **NetBackup** のインストールは完了しましたが、**NetBackup** のアイコンを [スタート] メニューに作成することができませんでした。これは、**Windows NT Service Pack 2** 以降が検出されなかったからです。

クライアント クライアント名 サービスを開始できません

NetBackup クライアント セットアップ プログラム が、指定されたクライアント上で **NetBackup Client** サービス を起動できませんでした。

クライアント クライアント名 クライアントを選択していません。

NetBackup のインストールの際、少なくともクライアントを1つ選択する必要があります。

クライアント クライアント名 **NetBackup** クライアント用に スタート メニュー名を指定する必要があります。

[プログラムフォルダの選択] ダイアログ ボックスの [プログラムフォルダ] の欄が空白です。

クライアント クライアント名 インストールディレクトリを指定してください。

[インストール先の選択] ダイアログ ボックスの [インストール先のフォルダ] の欄が空白です。

クライアント クライアント名 BPRD ポート番号を指定してください (デフォルト番号は 13782 です)。

[NetBackup クライアント オプション] ダイアログ ボックスの [BPRD ポート番号] の欄が空白です。

クライアント クライアント名 BPCD ポート番号を指定してください (デフォルト番号は 13782 です)。

[NetBackup クライアント オプション] ダイアログ ボックスの [BPCD ポート番号] の欄が空白です。

クライアント クライアント名すべてのファイルを有効にするには、ローカルマシンをリポートする必要があります。

NetBackup クライアントの設定

以下の方法に従って、NetBackup ブラウザを使って NetBackup クライアントの設定をさらに細かく設定することができます。

- ◆ クライアントを起動し、[アクション] メニューから [NetBackup マシンの指定] を選択する
- ◆ NetBackup Windows NT/2000 サーバーから [NetBackup の設定] オプションを使用する

その Windows PC クライアントに対してアクセスしなければならない NetBackup サーバーが、[NetBackup の設定] ダイアログボックスの [サーバー] タブに一覧表示されている必要があります。

詳細については、『NetBackup User's Guide - Microsoft Windows』を参照してください。

NetBackup クライアント ソフトウェアのアンインストール

NetBackup クライアント ソフトウェアをアンインストールするには、次の手順に従ってください。

1. Windows のコントロール パネルを開きます([スタート] を選択し、次に[設定] を選択します)。
2. [アプリケーションの追加と削除] を選択します。
3. [VERITAS NetBackup クライアント] を選択します。
4. [追加と削除] ボタンをクリックします。

NetBackup クライアント ソフトウェアのアンインストール



索引

- C**
Client サービス (NetBackup Client サービスを参照) 15
Columbia Data Products 28
- J**
Job Tracker (NetBackup Job Tracker を参照) 15
- M**
Microsoft Windows 1
- N**
NetBackup Client サービス 3、6、15、34
NetBackup Job Tracker 15、34
- O**
OTM 9、28
Windows 2
- W**
Windows
クライアントのシステム要件 4
- ア**
アップグレード
クライアント ソフトウェア
Windows 3、10、29
アンインストール
クライアント ソフトウェア
Windows 45
- イ**
インストール 9、28
概要
Windows 2
完了ステータス
Windows 38
クライアント ソフトウェア
Windows 6、19
システム要件
Windows 4
リモート
Windows 2、5、19
- カ**
関連マニュアル v
- サ**
サポートされているプラットフォーム
Windows 4
- シ**
システム管理者
タスクを実行するのに必要な権限 19
システム管理者の定義 v
- セ**
設定
NetBackup クライアント
Windows 44
- ユ**
ユーザーの定義 v

